

緊急開催

これから求められる **デイ戦略** セミナー

スペシャル

4名の講師がこれからの業界再編とデイの役割について提言！



**制度づくりの
キーパーソン**

厚生労働省 老健局振興課長
高橋 謙司氏



**制度ニーズを実現
デイ戦略の先駆者**

在宅療養支援 楓の風グループ 代表
小室 貴之氏



**デイの運営・経営・
プログラムの第一人者**

日本通所ケア研究会 会長
妹尾 弘幸氏



**地域包括ケアシステム
実現に向けたキーパーソン**

独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員
堀田 聡子氏

日時 2015年 **3月1日** 10:00 ~ 16:00

3月2日 10:00 ~ 15:00

会場 シダックスホール
(東京都渋谷区神南 1-12-13 シダックスビレッジ)

参加費 2日間 30,000 円 (税・抄録代込み)

制度改正で通所系サービスはどうなる!?

- ☒ 小規模デイの報酬単価激減 (7~8%マイナス)
- ☒ 要支援 1・2 の報酬単価大幅減 (25%マイナス)
- ☒ 機能別報酬体系の導入で在宅アセスメントが必須
- ☒ 通所サービス類型化への対応と差別化
- ☒ 地域連携拠点としての機能強化
- ☒ 現行サービスにプラスしたサービス提供の必要性

3月1日 日 プログラム

10:00	【特別講演①】 介護報酬改定と今後のデイに望まれる役割 講師：高橋 謙司氏 〈今改定に込められたデイの今後あるべき姿〉 - 平成 27 年度介護報酬改定の内容 - デイサービスをはじめとする居宅サービスの改正内容 - 新しい介護予防と日常生活支援総合事業（総合事業）の概要 ほか
12:00	
13:00	【特別講演②】 制度の期待に応え、持続可能なデイサービス運営を実践する 講師：小室 貴之氏 〈「楓の風グループ」の継続的成長の秘訣〉 - 加算算定の新要件は制度が期待するデイのあるべき姿 - 制度が求めるデイのあるべき姿を実現する「楓の風事業モデル」実践事例 - 軽～重度の方を受け入れ、生き様を支える生活機能向上のケア具体例 - 目的を共有し他職種が共創的に連携するチーム運営手法「円卓発想」 ほか
15:00	
15:15	【特別講演③】 介護保険制度改正とその影響 講師：妹尾 弘幸氏 〈制度の変化の方向と今回の改正の位置づけを知る〉 - 要支援 1・2 の予防事業への移行とその影響 - 利用負担割合 2 割による利用者の動向予測 - 地域密着デイがデイに及ぼす影響 - その他の制度改正がデイに及ぼす一時的影響、二次的影響 ほか
16:00	

3月2日 月 プログラム

10:00	【特別講演④】 地域包括ケアのまちづくりとその担い手を考える 講師：堀田 聡子氏 〈「介護」「医療」「生活支援」の深化と促進〉 - なぜ、いま地域包括ケアシステムか - 地域包括ケア研究会のポイント 3つのチャレンジ - 各地の取り組み事例 - 慢性疾患ケアモデルとケアの担い手のあり方 ほか
12:00	
13:00	【特別講演⑤】 地域包括ケアでのデイの役割と地域包括ケア下で生き残るデイづくり 講師：妹尾 弘幸氏 〈地域包括ケアにおける医療・介護のサービス体制〉 - 地域包括ケアの内容とポイント - 地域包括ケア…その先にあるもの - 地域包括ケアでは介護のあり方はどう変わるのか - 地域包括ケアの中で生きる残るためのデイ運営方針のポイント ほか
13:50	
14:00	【特別講演⑥】 介護報酬改定への対応と具体策 講師：妹尾 弘幸氏 〈新報酬体系で収入は激変〉 - 機能別報酬体系の加算の新要件の内容と加算算定対応のポイント - 各機能別デイ運営のポイントと対応 - 収入減の影響を抑え、収入改善に向けての取り組み - 新報酬体系でのモデルプラン ほか
15:00	

※講演内容は変更になる場合がございます

各講師の詳細・お申し込みは次ページまたはwebをご覧ください

通所ケア大会 東京

検索

講師紹介

今後も地域・利用者に支持され続ける事業所・法人であるための
最新情報を手に入れ、今後のビジョンを描いてください！



今後の介護保険制度づくりの
キーパーソン

高橋 謙司 氏

厚生労働省老健局振興課長

京都大学法学部卒業後、建設省に採用される。建設庁関東地方建設局総務部人事第一課長、千葉県企画部企画政策課主幹、国土交通省大臣官房人事課専門官、鳥取県企画部地域づくり支援局長、厚生労働省老健局高齢者支援課長などを経て、現職。今後の制度改正・介護報酬改定におけるキーパーソンの一人。



地域包括ケアシステムの具体策
と最先端の取り組みをリード

堀田 聡子 氏

・独立行政法人労働政策研究・研修機構
研究員
・介護給付費分科会委員

東京大学社会科学研究所特任准教授、オランダユトレヒト大学客員教授兼社会文化計画局研究員を経て2011年4月より現職。社会保障国民会議サービス保障分科会、地域包括ケア研究会委員等を経て、現在、社会保障審議会介護給付費分科会及び福祉部会、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会、福祉人材確保対策検討会等において委員を務める。博士（国際公共政策）。



制度の目的を理解し、持続可能な事業運営を実現！直営・FC を多数展開中！

小室 貴之 氏

・在宅療養支援 楓の風グループ 代表
・社会福祉士・経営学修士

立教大学大学院卒。民間企業、病院勤務、医療法人経営を経て2001年NPO楓の風を設立、同代表理事に就任。現在は株式会社楓の風を中心に訪問看護とリハビリ型デイを中心に在宅療養支援活動を展開。最期まで地域で生きる社会の実現のために、まずは在宅看取り率20%実現を目指す。2014年10月に政府ファンドより直接出資を受け、国策として本活動に取り組む。FCを含む通所施設は25施設、訪問看護9拠点、在宅療養支援診療所3箇所（2014年12月現在）。著書にホスピタリティマネジメント（2014白桃書房、共著）他、業界紙連載多数。



デイ激戦区で特色の異なるデイを高稼働率で8つ展開！「月刊デイ」編集長として全国各地のデイを多数取材！

妹尾 弘幸 氏

・株式会社 QOL サービス代表取締役
・総合介護施設ありがとう総施設長
・早稲田大学大学院非常勤講師

救急病院、県立病院などで理学療法士として勤務する傍ら、1998年にPT勤務と共に有限会社QOLサービス（現、株式会社QOLサービス）を設立。2004年に介護部門、多機能地域ケアホームありがとうを開設。現在は、株式会社QOLサービス代表取締役として「月刊デイ」「認知症ケア最前線」「デイの経営と運営」などを発行する傍ら、教育部門では各種養成講座や全国規模の研修会を開催している。介護給付費分科会、介護保険サービスに関する関係団体懇談会などを傍聴し、いち早く事業展開の舵を切っている。

お申し込み方法と注意事項

- 申し込み用紙にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送していただくか、ホームページからお申し込みください。
- お申し込み後、入金のご案内をFAXまたは郵送にてお送りいたします。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません参加者の変更は可能です。
- 当会主催の「生き残るデイになる特別セミナー」「冬期巡回全国セミナー」にご参加いただいた方を優先的に受付いたします。

FAX送信の際は番号をお確かめの上、お間違のないようお送りください。

FAX 084-948-0641

会場地図 シダックスホール TEL (03) 5784-8830



第13回日本通所ケア研究大会【東京特別大会】 参加申し込み書

ふりがな		連絡先 (自宅・勤務先)	TEL	
氏名			FAX	
住所 (自宅・勤務先)			携帯	
勤務先			メール	
			職種	

※上記個人情報、当研究会の管理・運営にのみ使用します。

参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内 **日本通所ケア研究会事務局** TEL **084-971-6686**
 ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/> メール info@tsuusho.com FAX **084-948-0641**

通所ケア大会 東京 検索